

平成 22 年度決算に基づく健全化判断比率・資金不足比率

健全化判断比率

平成 22 年度決算に基づく健全化判断比率の算定結果は、次の表のとおりとなりました。
 実質赤字比率と連結実質赤字比率については、昨年度に引き続き、赤字はなく、実質公債費比率については 0.6 ポイント、将来負担比率については 12.1 ポイント昨年度に比べ改善いたしました。いずれの指標についても、早期健全化基準や財政再生基準を下回っています。

指 標	H 22 決算比率	早期健全化基準	財政再生基準	備 考
実質赤字比率	-	(12.65%)	(20.00%)	赤字がないときは「-」で表示
連結実質赤字比率	-	(17.65%)	(40.00%)	
実質公債費比率	8.0%	(25.0%)	(35.0%)	H20 : 8.5% H21 : 8.6%
将来負担比率	56.2%	(350.0%)		H20 : 72.5% H21 : 68.3%

資金不足比率

平成 22 年度決算に基づく各公営企業の資金不足比率の算定結果は、次の表のとおりとなりました。昨年度に引き続き、資金不足（赤字）を生じた公営企業は、ありませんでした。

公営企業会計	H 22 決算比率	経営健全化基準	備 考
水道事業会計	-	(20.00%)	資金不足がないときは「-」で表示
下水道事業特別会計	-		
簡易水道事業特別会計	-		